

【専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の研修実績および研究業績等について】

本学術総会への参加または発表につきましては、公益社団法人日本看護協会の専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の研修実績および研究業績等として申請が可能です。手続きには、参加の場合は参加証、領収書のいずれか1点、発表の場合は、目次および抄録が必要です。保管の上、ご自身で手続きをお願いします。詳細は、公益社団法人日本看護協会のホームページをご確認ください。

【医療安全管理者養成のための研修について】

■本学術総会の教育セミナー「医療安全」へ事前申込をして参加された方は、履修証明を発行します。

※詳細は、日本医療マネジメント学会雑誌22巻4号及び第24回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページ(下記記載)を参照ください。

問い合わせ先：

第24回日本医療マネジメント学会学術総会

事務局：地方独立行政法人加古川市民病院機構
経営管理本部
担当：井上(人事部)
〒675-8611 兵庫県加古川市加古川町本町439
TEL：079-451-5500(代表) FAX：079-451-5548

運営事務局：株式会社JTBコミュニケーションデザイン
事業共創部コンベンション第二事業局
担当：久保・東山・福島
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25
JTBビル6F
TEL：06-4964-8869 FAX：06-4964-8804
E-mail：jhm2022@jtbcom.co.jp

第24回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページ
<https://convention.jtbcom.co.jp/jhm2022/>

支部学術集会開催報告

第19回島根支部学術集会

学術集会会長：大田市立病院院長 西尾祐二

「人と地域で造る地域医療の未来を求めて～地域で最期まで暮らすために～」をテーマに、第19回島根支部学術集会をWebにて開催しました。

昨年はコロナ禍により延期をし、本年も終息が見通せないことから、9月25日(土)から10月25日(月)までの1ヶ月間、特別講演1題、シンポジウム4題、一般演題44題をオンデマンド配信しました。

特別講演は、地域包括ケアの発祥地である広島県尾道市立総合医療センター公立みつぎ総合病院から、顧問の沖田光昭先生に「我が地域の地域包括ケアシステムを考え直す」との演題でご講演いただきました。また、シンポジウムは「共生社会における病院の役割」をテーマに、回復期系病院・介護施設・訪問診療を展開する医師、積極的な在宅診療を行う診療所医師、居宅介護支援専門員、訪問看護師をシンポジストに迎え、それぞれの施設・立場における具体的な取り組みについて発表いただき、その後に討論を行いました。一般演題では、個々の演題にチャット形式で質疑が行えるようにしたことで、Web上での意見交換が容易であり、他の方にも同時に視ていただけることから好評を得ました。

期間内のアクセス数は、オンデマンド配信のメリット「いつでも繰り返し視聴可能」という効果により、県外参加者を含め約900件ありました。

新型コロナ禍で初めてのWeb開催でしたが、関係する多くの皆様のご協力により、無事、学術集会が開催できましたことに対し、心からお礼申し上げます。

第20回栃木支部学術集会

学術集会会長：自治医科大学附属病院院長 佐田尚宏

日本医療マネジメント学会第20回栃木支部学術集会は、当初2020年に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期し、2021年10月9日Webでの開催と致しました。2020年当初から1年半あまり経過した新型コロナウイルス対策では、都道府県毎に感染状況も異なり、医療圏単位での地域の実情に合った取り組みが必要なことが痛感されます。そのため、本学術集会のテーマは「ポストコロナ時代の地域連携」とし、第3波～第4波感染拡大期に医療崩壊ともいえる状況を経験した大阪府の取り組みを特別講演として朝野和典先生にお話いただき、栃木県を含む北関東、埼玉県、千葉県から、地域に即した取り組み事例についてパネルディスカッションとして報告していただきました。Web開催のため、通常実施しているポスターセッションは企画しませんでした。71名の方に参加いただき、盛会の内に終了しました。

第20回北海道支部学術集会

学術集会会長：社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院
副院長 高金明典

2021年10月16日(土)に函館五稜郭病院会議室を会場とし、Web参加も可能としたハイブリッド方式